



ベニバナトチノキ 'ブリオッティー'

落葉／中高木／木本植物／園芸品種



科名 ムクロジ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

初夏に大きな円錐花序をいくつもつけるトチノキは、日本固有種。マロニエと呼ばれるセイヨウトチノキやアメリカトチノキがあり、これらから多くの交配品種が作出されている。樹高が低い時から花をつける園芸品種にベニバナトチノキ'ブリオッティー'がある。



葉



花：ベニバナトチノキ



花：トチノキ



黄葉と実

Memo

マロニエはセイヨウトチノキの別名。トチノキと異なり、実の果皮に短く鋭い刺がたくさんある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期					■							
果	実									■			
黄	葉											■	
施	肥	■											
剪	定	■											■

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	○
寒さ	強	○		弱
暑さ	強		○	弱
潮風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○			○		○

ポイント

樹姿、葉ともに大きく、狭い場所には向かない。日当たりと枝を伸ばせる広い場所に高植がよい。トチノキは花が咲くまで10年以上もかかるが、樹高1mほどの時期から花をつける園芸品種もある。

剪定

自然樹形が円錐形になり、枝先に花をつけるため剪定で樹高を抑えるタイプの庭木ではない。剪定する場合は、新梢の先に花芽をつけるので、葉の展開する前の落葉期がお勧め。

病虫害

湿気のある肥沃な土壌を好み乾燥を嫌うため、乾燥が続いたり強い直射を受けると幹焼けすることがある。病害では、褐斑病（葉に斑点を生じる）が発生することがある。